

品質の保証された木材で家を建てよう！



『JAS構造用
木材のすすめ』
別冊 関連用語集



KANAGAWA KENMOKUREN



品質の保証された木材で家を建てよう！ JAS構造用木材のすすめ関連用語集



※パンフレット「JAS構造用木材のすすめ」に沿って関連用語が記載されています

日本農林規格〈JAS規格〉

1. JAS〔ジャス〕 日本農林規格の英語名の略称〈Japanese Agricultural Standard〉の頭文字
2. 日本農林規格〔にほんのうりんきかく〕 日本の農林物資について決められた規格
3. JAS法〔ジャスほう〕 農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律
4. JASマーク〔ジャスマーク〕 日本農林規格に適合すると認定された製品につけるマーク

林産物のJAS規格

5. 林産物〔りんさんぶつ〕 森林における生産物で人間の実生活に役立つもの
6. 製材〔せいざい〕 丸太や原木を切削加工して寸法を調整した木材製品
7. 造作用製材〔ぞうさくようせいざい〕 建築のうち、天井・床板・敷居・鴨居・長押(なげし)・階段・柵・床の間などの仕上げ用製材
8. 目視等級区分構造用製材〔もくしとうきゅうくぶんこうぞうようせいざい〕 節、丸身など木材の外観を目視で測定し強度を推し量り、節の大きさなど厳密に定められたJAS規格製材
9. 機械等級区分構造用製材〔きかいたうきゅうくぶんこうぞうようせいざい〕 専用の強度試験機でヤング係数を測定し、その結果に基づいて区分されたJAS規格製材
10. 枠組壁工法〔わくぐみかべこうほう〕 木材で組まれた枠組に構造用合板などを打ち付けた床及び壁により建物を造る工法（ツーバイフォー工法とも言う）
11. 集成材〔しゅうせいざい〕 小さく製材し乾燥した板を接着材で組み合わせた人工木材で、強度や品質は安定している
12. 直交集成材(CLT)〔ちようこうしゅうせいざい〕 木の板を繊維方向が直角に交わるように重ねて接着した材で、建築の構造材他、土木用材、家具などにも使用される
13. 単板積層材(LVL)〔たんぱんせきそうざい〕 薄い単板を繊維方向を揃えて重ねて接着剤で張り合わせ圧縮した材で、繊維方向の強度が大きいため、柱や梁などに利用される
14. 構造用パネル〔こうぞうようぱねる〕 木材を砕いた削片(さくへん)に耐水性の高い接着材を加えて加熱プレスし、パネル状に成型したもので、木造住宅の構造用部材として用いられる
15. 合板〔ごうはん〕 丸太から薄くむいた板(単板)を、繊維(木目)の方向が直交するように交互に重ね、接着したもの
16. 積層材〔せきそうざい〕 木材を単板に切削したものをフェノール樹脂、合成樹脂等の接着剤で、繊維方向に重ねて接着したもの
17. 接着重ね材〔せつちやくかさねざい〕 構造用に使用する製材をその繊維方向を互いにほぼ平行にして厚さ方向に積層接着したもので、構造耐力上主要な部分に使用する木材
18. 接着合わせ材〔せつちやくあわせざい〕 ひき板をその繊維方向を互いにほぼ平行にして幅方向に積層接着したもので、主として丸太組構法建築物の構造耐力上主要な部分に使用する木材
19. 丸太組構法建築物〔まるたぐみこうほうけんちくぶつ〕 構造耐力上主要な部分に丸太材、製材その他これに類する木材を水平に積み上げた壁により建築物を建築する工法であり、丸太材(LOG)を主に使うことから、「ログハウス」とも呼ばれている
20. 接着たて継ぎ材〔せつちやくたてつぎざい〕 針葉樹の木材で、その繊維方向を互いにほぼ平行にして材長方向にフィンガージョイントによって接着したもの
21. フィンガージョイント 櫛状の組み合わせを使った木材の接合方法で、ギザギザが指の型に似ている為フィンガージョイントと呼ばれる
22. 認証マーク〔にんしょうまーく〕 商品やサービスの品質、性能、安全性等を証明し、他の商品サービスと差別化するために使用される(ここではJASマークのこと)
23. 構造用製材〔こうぞうようせいざい〕 木造建築の骨組み(構造)に当たる土台、柱、梁、桁等と母屋等、小屋組にも使われる製材品のこと
24. 無垢材〔むくざい〕 接着剤を使わず製材品としてそのまま利用する木材

製材のJASマーク



- 25. SD [エスディー] 機械等級区分で表示される、かなな掛けした乾燥材の乾燥度合い
- 26. E [イー] 機械等級区分で表示される等級区分表示
- 27. 認証機関名 [にんしょうきかんめい] 国の登録を受けたJAS認定事業者
- 28. 乾燥 [かんそう] 製材の日本農林規格においては、人工乾燥処理とは「人工乾燥処理装置によって人為的及び強制的に温湿度等の管理を行うこと」、天然乾燥処理とは「人為的及び強制的に温湿度を調整することなく適切な管理のもと、一定期間棧積み等を行うこと」と定義されている
- 29. 含水率 [がんすいりつ] 木材の中に含まれる水分の割合で、JAS規格では構造用製材及び造作用製材の乾燥材の含水率基準は仕上げ材については20%以下の含水率に設定(枠組壁工法構造用製材については19%以下) 建築後、年数が経過した木造住宅の部材の含水率は、おおよそ10~20%
- 30. 等級 [とうきゅう] 木材には強度品質の高い低いを区分した等級があり、等級の区分は節や丸みなど強度に関して目視で見分ける「目視等級」、グレーディングマシンという強度を調べる測定で強度区分を分ける「機械等級」の二つに分けられる(JAS認定外の木材は無等級扱いとなる)
- 31. 強さ [つよさ] 曲げ強度のこと
- 32. 含水率計測器 [がんすいりつけいそくき] 木材内部の水分量を計測する計器
- 33. グレーディングマシン 曲げヤング係数を算出する機械
- 34. 登録認定機関 [とうろくにんていきかん] 農林水産大臣に登録された第三者機関で、JASマーク製品の製造業者等の認証を行う機関

JAS製材の規格

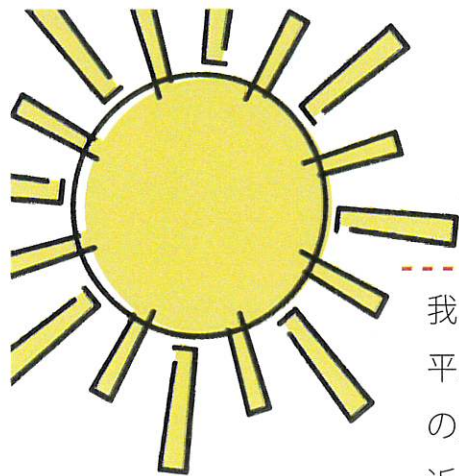
- 35. 甲 [こう] JASマーク表示の横使いの材(根太、梁、桁等)を指す
- 36. 乙 [おつ] JASマーク表示の縦使いの柱(柱、床束等)を指す
- 37. 区分 [くぶん] JASマーク表示の等級欄の木材の強度が、目視等級区分では1級は「★★★」2級は「★★」3級は「★」で表し、機械等級区分では、「E110」「E70」等で表す
- 38. 曲げ試験装置 [まげしけんそうち] グレーディングマシンのこと
- 39. ヤング係数 [やんぐけいすう] 材料の固さを数値化したもの、弾性率とも言い、数値が大きいと材料は固く、小さいと柔らかい
- 40. 基準強度 [きじゅんきょうど] 製材のJAS規格では、樹種・等級ごとに木材の強度基準が定められおり、住宅の耐震設計のための構造計算に利用できる
- 41. 全乾試験 [ぜんかんしけん] 木材の一部から試験片を採取して、その乾燥前の重量と完全に乾燥させた後の重量から、含水率を求める手法のこと
- 42. SD → 25参照
- 43. D [ディー] 機械等級区分で表示される、鋸挽きしたままの乾燥材(表面が未仕上)の乾燥度合い

教えて！ JAS構造材

- 44. 寸法精度 [すんぽうせいど] JAS規格製材は表示されている寸法と実際の寸法との差の明記が定められており、そのため寸法の精度が明確になっている
- 45. 燃え代設計 [もえしろせつけい] 燃えた時に消失する部分(燃え代)を想定し設計を考えることを燃え代設計と言い、JAS構造材は準耐火構造における燃え代設計への対応が可能となっている
- 46. 構造計算 [こうぞうけいさん] 建物の安全性を検討、確認する計算(構造計算には木材の正確な強度が必要なため、JAS構造材を使用することで計算が容易となる)

木の良さを知る

- 47. SDGs [エスディー・ジーズ] 持続可能な開発目標【Sustainable Development Goals】の略。読み方はエスディー・ジーズ
- 48. 森林環境譲与税 [しんりんかんきょうじょうよぜい] 市町村においては、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとされており、都道府県においては「森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用」に充てることとされている

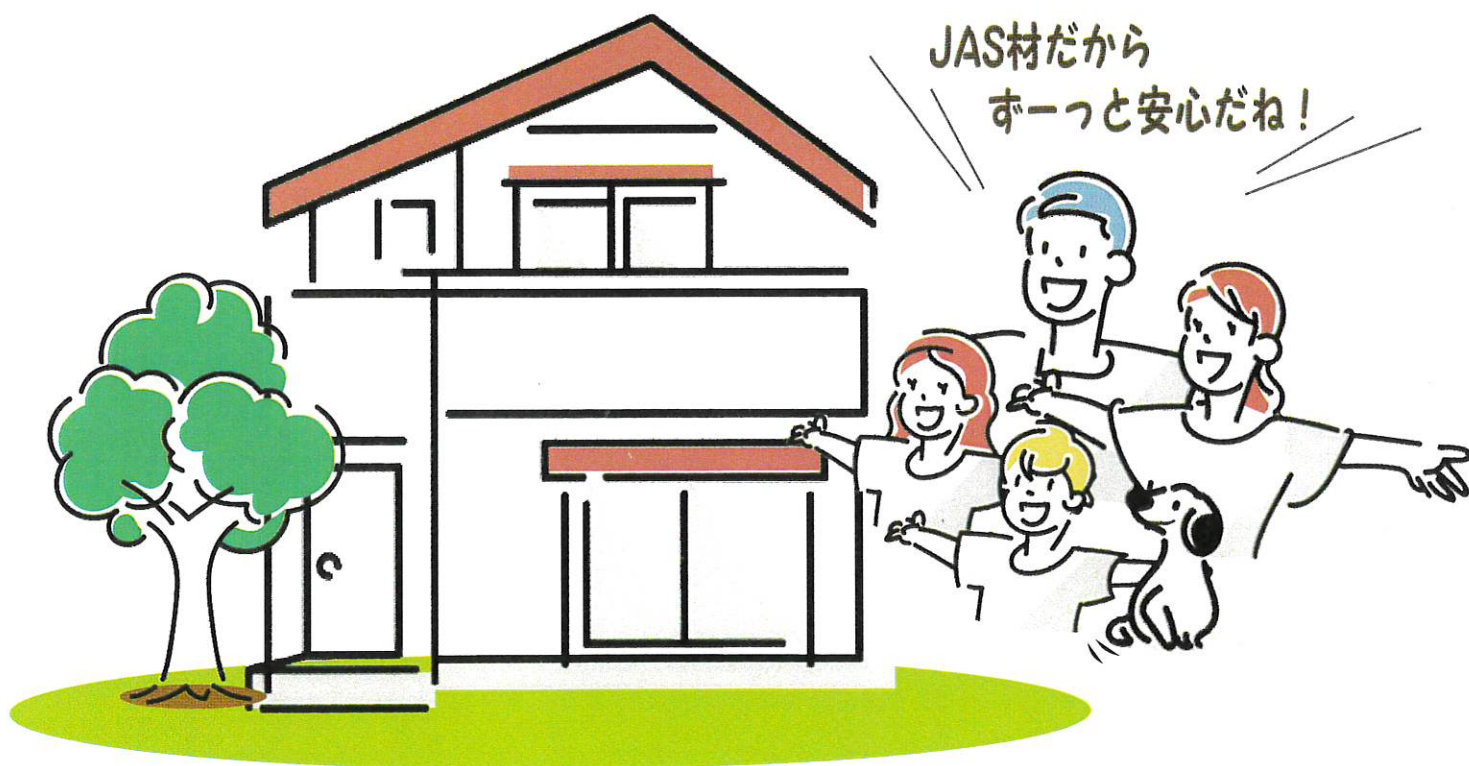


我が国は世界有数の地震国です。

平成7年の阪神・淡路大震災、平成23年東日本大震災、直近では平成28年の熊本地震と毎年のように地震が日本各地で起きています。

近年の日本の住宅建築は、大地震にも対応できる住まい造りを行ってきました。しかし、これからの住宅では、より一層安定した構造材で、大切な家族の命を守ることができるよう、高性能なJAS構造材を活用して安全な住まい造りをしていくことが安心の証となることと思っています。

神奈川県木連では、JAS構造材で安心・安全・安定した住まい造りを推奨しています。



神奈川県木連

神奈川県木材業協同組合連合会

TEL : 045 (261) 3731

FAX : 045-251-4891

〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町9丁目149番地
神奈川県木材会館

E-mail : kanagawa@kenmokuren.com

<https://kenmokuren.com>

◆◆◆ あなたの街の身近な材木店へおたずねください ◆◆◆